

＜3＞小論文について（時間：80分 字数制限なし）

小論文では与えられたテーマ（出題例参照）について自分なりに考え、それを文章にまとめることが必要です。ふだんから、音楽や音楽教育の諸問題とその背景にある社会や文化に関心を持って積極的に本や新聞を読むことを心がけてください。また歌唱や楽器演奏、さまざまな音楽の鑑賞に取り組んで、音楽体験を豊かにすることも大切です。そして、出題例を参考にさまざまなテーマで文章を書いてみましょう。多くの文章を書くうちに、どうすれば自分の考えをうまくまとめることができるのか、どのように書けば自分の考えをうまく他者に伝えることができるのか、ということがわかってきます。

[平成29年度出題例]

- ・高校の芸術科音楽の教科書には、英語だけでなく、たくさんのイタリア語やドイツ語などの原語（元の詩の言語）の曲が掲載されている。原語で歌うことの意義について述べるとともに、訳詞で歌った場合の問題点についても考えられる点を挙げなさい。
- ・映像作品において音楽が果たす役割について具体例を挙げて論じてください。

＜4＞作曲について

与えられたモチーフから1題を選択してください。限られた時間内で、最も自己表現できる楽器編成を使い、選択したモチーフを展開させて、ひとつの作品にまとめあげてください。音符や休符などを用いて、言葉では表すことのできない心の表現に挑戦してください。世界にひとつしかない作品を創作してみましょう。（試験当日はクラビノーバを使用することができます。）